



3

高鈴台サロン

サロン運営団体 日立市社会福祉協議会
仲町地区社会福祉協議会



3 日立市

開催日及び開催頻度

月2回(第1・3金曜日)
9:30~11:30

開催拠点 高鈴台団地公民館

代表者氏名 森山 弘一

1回の参加人数 12~15名

参加費 (1人1回あたり) 0円

広報方法 高鈴台サロン広報誌(随時)
高鈴台団地広報誌(随時)
仲町地区社協広報誌(随時)



開催地域の様子



- 昭和50年代に造成された団地で、自治会には312世帯(上148、下164)があります。今の所、空き家は余り多くありませんが、年々高齢化が進んでいます(空き家は比較的早く売れている)。
- 日立駅までのバスが運行されているが、車で移動する人が多く、バスを利用する人が少ないです。
- 更なる高齢化に備えてバス路線が廃線とならないよう年2回、バス会社、日立市、団地自治会との3者会議を開催して対策を検討しています。
- 通勤、通学時間帯を除く、日中のバスは団地内を巡回して貰い、乗車率向上と乗降の便宜を図って貰っています。
- サロンを開催する公民館は高台の上の団地にあり、下の団地の人が公民館まで行くための交通手段が問題になってきています。



サロンに取り組む動機・サロンの将来像



- 高鈴台サロンの代表は平成16年12月~高鈴台団地担当の民生委員でしたが、将来、当団地の高齢化に備えて高齢者が何時までも健康で元気に過ごせるためと、同時に高齢者の安否確認もできると考え立ち上げました。
- 将来像としては下の団地の人が公民館まで行くための交通手段が問題なので、ボランティアによる送迎ができないか。
- 高齢者が歩いて集れるように、上、下の団地に各サロンを分ける(空き家を利用して)ことも考えています。
- リモートでのサロンへの参加も考えています。



サロン運営上の協力者



- 高鈴台団地自治会
- 民生委員
- 日立市社会福祉協議会
- 仲町地区社会福祉協議会

運営費の確保方法



- 日立市社会福祉協議会(仲町地区社会福祉協議会経由)からの運営交付金でまかっています。但し、食事を伴う新年会、花見、暑気払い、忘年会、バス旅行には臨時会費を徴収しています。

連携先・協働先



- 自治会からは公民館の利用料は無料として応援していただいています。
- 仲町地区社会福祉協議会経由日立市健康づくり推進課からは年1回の健康講座を無料で実施していただいています。

サロンのウリ



- 開催場所は公民館と、公民館に隣接している公園が利用出来ます(グラウンドゴルフ等)。
- 参加者で比較的若い方が会場の椅子、テーブル、お茶、コーヒー等の準備をしてくれ、後片付け、清掃は全員で手伝っていただいております。
- ボランティアで元看護師の方に毎回、開始前に血圧測定をしていただいています。
- 参加者の方で県の講習を受講したシルバーリハビリ体操指導士の方に毎回、シルバーリハビリ体操を指導していただいています。
- 人生100歳時代と言われているので高鈴台サロンでは100歳まで元気に参加することを目標にしたいと声掛けをしています。



コロナ禍でのサロン活動について



- 令和2年3、4、5、9月の計4カ月、令和3年1、2、8、9月の計4カ月、活動を中止しました。
- 自宅でひとりカラオケ、ビデオ鑑賞、音楽鑑賞をやりたい希望の人にDVDプレイヤーを貸し出し方式で準備しました。
- 「シルバーリハビリ体操」の資料と「新型コロナウイルス感染症」の高齢者として、気を付けたいポイントのチラシを配布し、自宅ですらでも体を動かし、且つ、注意をしてもらうようお願いしました。



◆助成金の活用によりパワーアップした活動

◆サロン活動で使える豆知識

◆サロン活動の醍醐味

など、これからサロン活動を予定している方へのメッセージ



- 助成金を活用し、いろいろな都合でサロンに参加出来ない人のためにリモートで参加できるようテレビ電話会議を導入しました。
- 男性の参加者を増やすために男性、及び民生委員にもボランティアとして参加してもらっています。
- サロンの帰り際に「今日も半日楽しかった」と言って貰えることが活動の醍醐味です。